

答辞

冬の寒さが和らぎ、校内の木々に射し込む柔らかな日差しに、春の訪れが感じられる季節となりました。

今、振り返ると、この海田西中学校で過ごした3年間は、あつという間でした。

入学式 新しい制服に袖を通したとき、いよいよ中学校生活が始まるのだという、わくわくした感情にあふれました。一方で、新しい友達を作れるだろうか、中学校での難しい勉強についていけるだろうかという不安もありました。

一年生 小学校の時とは違い、部活動や提出物、テストに向けての勉強があり、慣れない生活でとても忙しかったことを覚えています。

初めての体育祭。新たな仲間と初めて行う行事でした。競技の練習や本番での声の掛け合いを通して、新たな友達を作ることができ、クラスの団結力を深めることが出来ました。

初めての文化祭。全員の力で美しいハーモニーを作ることを目標に、仲間と協力し合うことで、より一層クラスの団結力を深めることが出来ました。また、小学校の時にはなかった、展示や中庭で美味しいうどんやクッキーを食べたことはとても楽しく感じられました。

二年生 初めてのクラス替えで、また新たな友達が出来ました。中学校生活に慣れ、仲間と楽しく充実した2年生の時間はとても早く感じました。

職場体験では、それぞれが違う職場へ行き、貴重な仕事の体験をさせていただきました。初めての仕事の体験で楽しみな一方、上手く仕事をこなせられるかどうか緊張もありました。

しかし、職場の方々温かく迎え入れていただき、なんとか仕事をやりきることが出来ました。職場体験を通して、学校では学べない、働くことの大切さや苦労、礼儀やマナーなどたくさん学ぶことが出来ました。また、自分の将来について考えるきっかけとなりました。より一層家族への感謝の気持ちが強まりました。

修学旅行 三年間の中で一番の思い出となりました。東京オリピック開催にあわせ、バススポーツ体験。競技を通して、障がい者理解を深め、パラ競技の魅力に触れることができました。みんなでおみくじを引いた浅草。約600メートルの高さから東京の景色を見たスカイツリー。ジェットコースターに乗ってみんなで手を挙げて楽しんだディズニーランド。あつあつでも美味しかったちゃんこ鍋やもんじゃ焼き。どの思い出も忘れられない大切な思い出となりました。

部活動では、一年生の始めは何部に入ろうかわくわくしていたのを覚えています。部活動に所属すると、慣れないことも多く、また厳しい練習についていけなくて、辛くて悔しい思いをしたこともありましたが、最後まであきらめずに練習し、試合に勝てた時は、達成感もすごく大きかったです。

部活動は、私たちが大きく成長させてくれました。挨拶や礼儀の大切さ、仲間との助け合い、信頼感など、多くのことを学ぶことができました。そして何より仲間への感謝の気持ちと、チームワークの

大切さを学ぶことができました。

最上級生になった三年生行われた行事にはすべて、「中学校生活最後の」という言葉が付き、1・2年生の時よりも一つ一つの行事に真剣に向き合うことができました。

特に体育祭と文化祭は、これまでとは違う特別な思いで取り組みました。

体育祭では、本番だけでなく練習から全力を出しました。最初のころは、クラス一人一人に様々な思い、考えがあり、なかなか思うようにはいきませんでした。しかし、課題を出し合ったり、アドバイスしあったりするなど積極的に声を掛け合うことにより、少しずつ気持ちが一つになりました。

体育祭本番では、すべての演技、競技において学級が団結し、心を一つにして全力を出し切りました。「優勝」という目標に向かって、学級ぞして、三年生全員がひとつになったことを実感しました。私たちの絆はさらに深まりました。

合唱祭 全員が「勝ちたい」という思いで一致団結して練習に取り組みました。最優秀賞をとるため、一人一人が高い意識を持って練習に取り組みました。放課後の練習も毎日欠かさず、一生懸命行い、どのように工夫すれば上手になれるのかを考えました。お互いに思っていることをいい合い、本気でぶつかり合うことで、さらに団結力が高まるのを感じました。

迎えた合唱祭本番。これまでの練習のすべてを出し切り、素晴らしい合唱になったと思います。そして、練習以上の歌声を体育館一杯に響かせること

ができました。私たち三年生の思いを、聴いて
る人に伝えられたのではないかと思います。

結果発表では、「悔しき」と「どうして」という思
いもありましたが、それ以上にすべての力を出し切
った充実感と達成感で、自然と涙があふれました。

これまで、私たちは本当にたくさんの方々に支え
られてきました。

後輩へ 私たちにとって皆さんはとてもかけがえ
のない大事な後輩です。あなたたちの支えがあった
からこそ頑張ることができました。今日、この海田
西中学校の素晴らしいバトンを皆さんに渡します。
西中のよい伝統を引き継ぎ、もつと素敵な学校に
していつてくださいます。

先生へ いつも熱心に指導してくださった先生方
いつも優しく、時には厳しく、たくさん言葉を注
いでくださり本当にありがとうございます。相談
にはいつも親身になって、真剣に向き合ってくださ
いました。先生方のおかげで私たちは大きく成長
することができました。

家族へ お父さん、お母さん。いつもは照れくさ
くて言えないけど、この場を借りて言います。い
つも私たちのことを第一に考え、一番近くで応援し
てくれてありがとうございます。いつも迷惑をかけた
り、心配をさせてしまつてごめんさい。でも、どんなとき
でも温かく見守ってくれたことに本当に感謝して
います。

毎日、朝早くからお弁当を作ってくれてありが
とう。今日まで育ててくれてありがとうございます。

これからもまだまだお世話になると思いますが、
よろしくお願ひします。

そして三年生の仲間へ

三年生のみんな、三年間たくさんのがあつた
ね。たくさん笑つたし、苦しいことも涙を流したこ
ともみんながいたからこそ、乗り越えることができ
ました。

ほかの学校より生徒数が少ない分、一人一人に
対する思い入れの強さは大きいです。その分、別れ
る寂しさも大きく、感謝の気持ちでいっぱいです。
いつも笑いが絶えず、ほかの学校にはない一体感が
あるこのメンバーが私は本当に大好きでした。この
メンバーの一人でもよかったと心の底から思います。

何気ない日常の中でたくさん話し、笑い合つたこ
とは、今では忘れられない大切な思い出です。これ
からみんな別々の道を歩き出しますが、何か困難
なことにぶつかったとき、みんなの顔を思い出し乗
り越えていきたいです。西中の誇りを人生の糧とし、
強く生きていきます。

さて、私たち三年生の中学校生活最後に起こつ
た出来事。

新型コロナウイルスの影響による突然の休校。あ
まり突然で「友だちとの突然の別れ」「卒業式はで
きるの」「選抜Ⅱはどうなる」と、みんな大きな戸惑
いと不安でいっぱいになりました。

残念ながら在校生は参加できませんでしたが、
三年生全員で卒業式を迎えることができたことは
何よりの喜びです。

この日のため、会場準備や校舎の清掃ワックスが
けなど、先生方が毎日やって下さつたそうです。私
たち三年生のために本当にありがとうございます。

た。

このような状況の中で、多くの保護者の皆様
が式に参加して下さいました。ありがとうございます。

最後になりましたが、学校生活を支えてくださ
つたすべての方々に、改めて感謝を申し上げるとと
もに、海田西中学校の益々の発展を祈つて答辞と
させていただきます。

令和二年三月八日

生徒代表

麓基揮

第32回 卒業生

みんなの思いを答辞にこめて

3-1 井手 寧々花 3-1 重松 美憂
3-2 小川 彩 3-2 木曾 桃子

(答辞作成委員)

